

マーケットの動き (2020年2月17日～2月21日)

先週の国内株式市場は、10-12月GDPが前期比年率6.3%減と想定以上に落ち込んだことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大影響が懸念され、軟調な展開となりました。

業種別では、ゴム製品、鋳業、輸送用機器が騰落率上位に挙がりましたが、鉄鋼、小売業、空運業が騰落率下位に挙がりました。また、規模別では大型株が優位に、スタイル別ではバリュー株が優位となりました。

投資環境見通し (2020年2月)

相場が不安定な動きの後には堅調に推移

新型コロナウイルスの感染拡大などの悪材料に対して、当面は相場が神経質な動きになると予想されます。

しかし、米国に加え欧州、中国で緩和的な金融政策が続く中、米中関係の改善を受けて企業活動が活発になるとみられることから、その後は堅調に推移するとみています。

	2月21日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	1,674.00	▲1.70%	▲3.51%	11.79%	3.75%
日経平均株価	23,386.74	▲1.27%	▲2.00%	13.43%	8.96%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

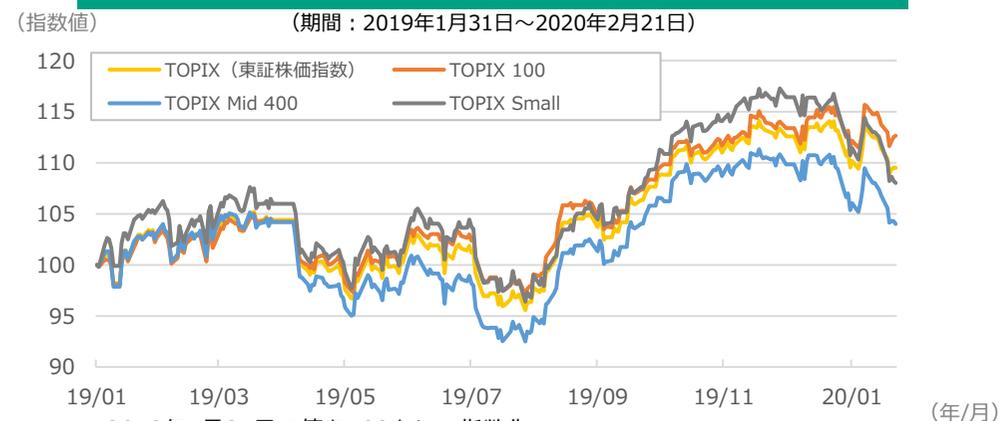
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202002_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2019年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成